

カーペットのまめ知識(その1)

# カーペットいろいろ

新しい年を迎え、今年こそ「すまい」をおしゃれに演出したい、お手入れをキチンとして素敵なすまいを保ちたい、とフレッシュな気持ちで心に誓われている(?)方も多いのこのコーナーもますます頑張って参りますので、本年もどうぞよろしくお願い申しあげます。

## カーペットはすぐれた床材

木の温もりに癒されるフローリングの床も、冬は少し寒々と感じてカーペットを敷かれるという方が多いようです。温かな肌触りの心地よさはもちろん、**カーペットには断熱性**があり、部屋の**暖房効率を高める**ので省エネ効果が期待できます。また、靴下をはいていることが多い冬でも滑りにくく**防音性も高い**など、カーペットは**保温性・省エネ効果・安全性・防音性**にすぐれた、人やすまいの環境にやさしい床材なのです。

## ●カーペットの選び方

### エントランス

訪れる人が最初に目にする場所であり、その家の第一印象が決まります。清潔感や温かみを感じる色使いを心がけ、玄関は素敵に見せたいですね。

### 寝室

1日の疲れを癒す空間だけに落ち着いたイメージが大切ですが、プライベートな空間らしい個性豊かな演出も楽しんでみたいもの。お部屋の方によっては、保温性が安眠の決め手になる場合もありそうですね。

### リビング

家族が長い時間を過ごすスペースだからこそ、居心地を重視したソフトなタイプを。お部屋の模様替えを考えると、家具の重さでヘタることは避けたいですね。赤ちゃんのいるご家庭では抗菌・防ダニ・防汚効果のあるものを選んだり、遊び毛の出にくい素材を選ぶなど、素材選びに慎重に。

## コーディネートのコツ

床面を広く占めて部屋の印象を左右するカーペットは、模様替えのときにもまず最初に取り組まなければならない**インテリアコーディネートの大重要な要素**です。色選びをする際は天井や壁、家具との色合いを合わせ、それより少し濃いトーンにすると安定感が得られますつきりまとまります。また、北側の部屋なら明るめの色に、南側や西日の入る部屋なら淡い中間色に、という具合に光を計算に入れることも大切です。

### 子ども部屋

色選びは子どもの個性や好みに合わせ、できれば防音性・防汚性の高いものを。カットが自由で、汚れた部分を取り外して洗えるパネルカーペットなど、色の組み合わせが自由にできるタイプもあります。

### お年寄りの部屋

足への衝撃や、もしもの時の転倒をやわらげ、滑りにくく。カーペットはお年寄りには最適ですが、後敷きの場合は入口などに段差がついたり、めくれて引っかかったりするので、カーペット用の滑り止めテープで固定するなど注意が必要です。

### キッチン

汚れやすい場所なので、何かこぼしても拭き取りやすい合成繊維(ナイロンやアクリル、ポリプロピレン)のものを。色も汚れが目立たないものがいいでしょう。ズレにくい機能チェックも重要です。

## ●ワンポイントレッスン

色はローズやイエロー、ベージュなどの暖色系なら部屋を広く温かく感じさせ、ブルーやグリーン、グレーなどの寒色系なら部屋を締め静かな雰囲気を感じさせることができます。

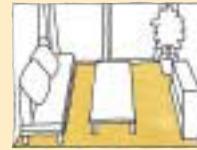
次号お知らせ!カーペットのある生活を素敵に、快適に送るためにまめなお手入れがかかるかもしれません。そこで次号では、簡単なカーペットのお手入れ方法やメンテナンスについてご紹介します。

●ホームページのご紹介 賃貸物件をお探しの方は <http://www.happy-house.co.jp> 住まいの宝箱 <http://www.e-jyuutaku.com>

## ●敷き方例

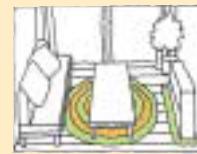
### 【wall to wall(敷き詰め)】

部屋いっぱいに敷き詰める方法。部屋が広く使えるので家具のレイアウトも自由。掃除がしやすいというメリットもあります。



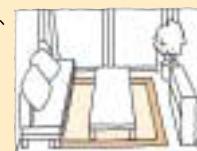
### 【ピース敷き】

応接セットの下やドレッサーの前などに部分的に敷く方法。アクセント的な使われ方が多く、一般に「ラグ」と呼ばれます。



### 【センター敷き(中敷き)】

下地の床材が見えるよう壁から30~50センチほど離して敷く方法で、床材とカーペットのコーディネート、質感の対比などが可能となります。



### 【重ね敷き】

敷き詰めたカーペットにラグを重ね置きする方法。応接室など豪華な感じが演出しやすく、機能性プラスデザイン性の両方が実現できます。  
※下敷きのパイルで上のラグが動くので、滑り止めシートなどで固定しましょう。



●すまいのコーディネートには  
from174号「カラーコーディネート」  
175号「家具の配置」  
183号「空間演出・プロのこつ」  
203号「家具の配置・統編」  
などもぜひご参考にどうぞ。